

研究に関するホームページ上の情報公開文書（オプトアウト）

研究課題名：回復期リハビリテーション病棟退院から生活期リハビリテーション利用者における健康関連 QOL の実態および臨床的有用性に関する研究

本研究は新潟医療福祉大学倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。（承認番号 19856-260609）

1. 研究の対象

2023 年 4 月 1 日～2029 年 3 月 31 日に、鶴飼リハビリテーション病院を退院後に珪山会（法人内）生活期リハビリテーションを利用予定の方。

2. 研究目的・方法・研究期間

研究目的

この研究では、当院退院後に医療保険の外来リハビリや介護保険のリハビリを継続される予定の患者様の健康状態や生活の質（生活の満足度や心身の状態）について調べることを目的としています。

方 法

この研究は観察研究です。研究対象者は、鶴飼リハビリテーション病院を退院後に、法人内の生活期リハビリテーションを利用される方です。通常臨床で実施している回復期退院時～生活期リハビリテーション利用後に定期的に行っている検査のデータベースから情報の収集を行い、生活の質の向上に寄与する要素および生活の質が要介護状態に及ぼす影響を調査することで、質の高いリハビリテーションの提供に向けた基礎資料を得ることを目的としています。

研究期間（利用期間）

2023 年 4 月 1 日～2029 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、主疾患、性別、当院入院日数、世帯構成人数、世帯収入（1～8 段階）、教育歴（ISCED 分類）、要介護認定度、利用サービス、併存疾患（CCI）、栄養状態（BMI）、健康関連 QOL（SF-8、EQ-5D-5L）、身体機能（握力、SPPB）、精神機能（MMSE-J、GDS-5）、活動（修正 BI、LSA）、社会参加（LSN-6、CIQ）

4. 外部への試料・情報の提供

特に行いません。

5. 研究組織

研究責任者：

新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 佐藤 英人

研究指導者：

新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 教授 能登 真一

共同研究機関：

医療法人珪山会 鶴飼リハビリテーション病院 佐藤 英人

6. 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科/医療法人珪山会 鶴飼リハビリテーション病院

担当者：佐藤 英人（大学院生）

医療法人珪山会 鶴飼リハビリテーション病院

住所：愛知県名古屋市中村区太閤通4丁目1

電話番号：052-461-3132